管内市町村の概要

十勝〈とかち〉
1市16町2村

面積/10,831.55km²
人口/321,232人

■地名の由来
「　」内はアイヌ語

---

1 帯広市 Obihiro City

●面積 /619.34km² ●人口 /160,810 人

十勝圏の中核都市として豊かな自然環境と快適な都市機能が調和する田園都市。また、食と農林漁業を柱とした地域産業政策「フードバレーとかち」を十勝全体で推進している。令和 2 年に日本で初めて大学構内に酒蔵「碧雲蔵」が開設。世界で唯一のばんえい競馬開催やお菓子のまちとしても有名。平成 20 年に環境モデル都市に認定され、低炭素社会の構築に向けた取組を行っている。

■地名の由来 /「オペレペレケプ」(川尻がいくつにも裂けているところの意) から転訛。
■観光名所 / ばんえい競馬、幸福駅・愛国駅、紫竹ガーデン、八千代公共育成牧場、岩内仙峡、緑ヶ丘公園、北の屋台・十勝乃長屋、真鍋庭園、おびひろ動物園など。

2 音更町 Otofuke Town

●面積 /466.02km² ●人口 /42,683 人

日本有数の生産量を誇る小麦や豆類などを育む肥沃で広大な耕地と、美しい自然に恵まれた緑豊かなまち。北海道遺産に選定されたモール (植物性) 温泉で知られる十勝川温泉などがある。令和 7 年 9 月 18 日、道の駅おとふけ なつぞらのふる里の累計来場者数が移転オープンから 1253 日目で 500 万人を達成。全道町村で最も人口が多いまち。

■地名の由来 /「オトプケ」(毛髪が生ずるの意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅おとふけ なつぞらのふる里、道の駅ガーデンスパ十勝川温泉、十勝川温泉、花時計ハナック (十勝が丘公園)、十勝が丘展望台、十勝牧場展望台、白樺並木、十勝エコロジーパークなど。

3 士幌町 Shihoro Town

●面積 /259.19km² ●人口 /5,690 人

畑作、酪農、畜産などが盛んで、面積の約 60%が農用地という全国有数の農業のまち。特にじゃがいもの加工施設は国内有数で、生産者還元用の限定商品であるポテトチップスが有名。高校生と地元企業等が共同で地場産品を使った商品開発を行い、道の駅の人気商品になっている。また、地元高校では様々な農産物の認証取得を目指しており、生徒が農業生産や地域活動において活躍している。

■地名の由来 /「シュウウォロー」(広大な土地の意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅ピア21しほろ、道の駅しほろ温泉、水芭蕉園 (士幌高原ヌプカの里)、美濃の家・伝統農業保存伝承館、朝陽公園ホタルの里、士幌鉄道記念公園 (士幌交通公園) など。

4 上士幌町 Kamishihoro Town

●面積 /694.23km² ●人口 /4,758 人

大雪山国立公園内の糠平湖を取り囲む森林と山岳美、日本一広い公共牧場であるナイタイ高原牧場に加え、熱気球の町としても有名。旧国鉄士幌線のタウシュベツ川橋梁は北海道遺産であり季節によって姿を変える幻の橋として人気。移住定住を推進し、ふるさと納税を活用した子育て支援に取り組んでいる。また、バイオガス発電によるエネルギーの地産地消が SDGs 表彰を受けているほか、令和 4 年 4 月に脱炭素先行地域に選定された。自動運転バスやドローン配送など、ICT を活用したまちづくりを推進している。

■地名の由来 / 士幌村から分村の際、士幌川の上流に位置することから名付けられた。
■観光名所 / 道の駅かみしほろ、ぬかびら源泉郷、糠平湖、三国峠、ナイタイ高原牧場、ひがし大雪自然館、旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群など。

5 鹿追町 Shikaoi Town

●面積 /402.88km² ●人口 /4,928 人

道内で最も標高が高く幻想的な然別湖を有し、とかち鹿追ジオパークは他に見られない凍れ (しばれ) という特徴を持つ。国内最大規模となる 2 か所の資源循環型バイオガスプラントが町の事業として稼働している。余剰熱を活用してマンゴー栽培、チョウザメ養殖事業などを行っており、令和 4 年 4 月に脱炭素先行地域に選定された。また、バイオガスから水素を生成し車両に充填する道内で初めての固定式のステーションがあり、町役場で水素燃料車が利用されている。

■地名の由来 /「クテクウシ」(鹿捕り柵、あるものの意) の和訳から。
■観光名所 / 道の駅しかおい、道の駅ラりまく、神田日勝記念美術館、然別湖、東雲湖、鹿追町ライディングパーク、とかち鹿追ジオパーク、福原山荘など。

6 新得町 Shintoku Town

●面積 /1,063.83km² ●人口 /5,503 人

農業、林業を主産業とするまち。町立女性専用農業体験実習施設レディースファームスクールがある。特産品のそばは全国的にも有名で、毎年 9 月に開催される「しんとく新そば祭り」には全国から 2 万人が訪れる。狩猟高原を中心に、乗馬、スキー、ラフティング等を楽しめるリゾート地でもある。手話の理解を広めるため、町村では全国初の手話に関する基本条例を施行した。

■地名の由来 /「シットク」(肘、山の突出部分の意) から転訛。
■観光名所 / トムラウシ温泉、狩勝峠、旧狩勝線跡、くったり温泉、ベア・マウンテン (サホロリゾート)、そばロードなど。

7 清水町 Shimizu Town

●面積 /402.25km² ●人口 /8,755 人

日勝峠の東側に位置するまちで、日勝峠展望台などの眺めの良い場所が多く存在する。地元産のブランド牛と地元産鶏卵を使用したご当地グルメ、十勝清水牛玉ステーキ丼が有名で、「新・ご当地グルメグランプリ北海道」では大会 3 連覇を達成し殿堂入り。また、6 次産業化にも力を入れており、有機肥料で育てた地元産にんにくを使用し、町内で加工した黒にんにくが有名。

■地名の由来 /「ペケレベツ」(明るく清らかな川の意) の和訳から。
■観光名所 / 日勝峠展望台、美蔓パノラマパーク、清水円山展望台、十勝千年の森、清水公園など。

8 芽室町 Memuro Town

●面積 /513.76km² ●人口 /17,773 人

ゲートボール発祥の地。スイートコーンの作付面積・生産量ともに日本一のまちで、十勝芽室コーン炒飯がご当地グルメとして有名。近年、落花生の生産も盛んで、落花生の産地化を目指している。また、芽室サイクルツーリズムでは地元ガイドと共に巡る散走が行われている。農産物などの豊富な地場資源を活用した食料品製造業を中心に発展しており、工業団地の造成・企業の誘致などを通じ、活性化を図っている。

■地名の由来 /「メム・オロ・ペツ」(泉のわくところの川の意) から転訛。
■観光名所 / 新嵐山スカイパーク展望台、花蔵蒲園 (芽室公園)、ふるさと歴史館ねんりん、めむろみのり～む、メムロスキー場、10線防風林など。

9 中札内村 Nakasatsunai Village

●面積 /292.58km² ●人口 /3,823 人

日高山脈中央部を源とする清流、札内川流域に広がる花と緑とアートの村。グランピング施設やドイツ休暇村スタイルの長期滞在型コテージが整備され、美しい農村景観と美術館などの見どころや、枝豆や卵などの農畜産物を求め、多くの観光客が訪れている。「日本で最も美しい村」連合に加盟している。

■地名の由来 /「サチナイ」(乾いた川の意) から札内川の中流に位置するので"中"を冠した。
■観光名所 / 道の駅なかさつない、ピョウタンの滝 (札内川園地)、一本山展望タワー、六花の森、六花亭アートヴィレッジ中札内美術村、豆資料館 (ビーンズ邸)、花畑牧場など。

10 更別村 Sarabetsu Village

●面積 /176.90km² ●人口 /3,084 人

農家 1 戸当たりの経営面積、トラクター所有台数が国内最大級。道内初のキャリア 5Gの基地局が整備された村で、スマート農業先進地。村内にあるどんぐり公園内のすももの里には約 3haの広大な敷地に1,000 本を超えるすももの木が植えられている。農畜産物とすももの加工品が人気。

■地名の由来 /「サラ・ペツ」(葦・茅の生い茂る地の意) に更別の漢字を当てたもの。
■観光名所 / 道の駅さらべつ、十勝スピードウェイ、どんぐり公園、さらべつカントリーパーク、更別農村公園など。

11 大樹町 Taiki Town

●面積 /815.67km² ●人口 /5,266 人

「北海道に、宇宙版シリコンバレーをつくる」という目標を掲げるまち。町内のロケット射場から、民間企業単独で開発・製造したロケットが打ち上げられている。更なるスペースポートの整備が進められている。過去何度も日本一の清流に選ばれている歴舟川では、砂金掘り体験やカヌー下りを楽しめる。

■地名の由来 /「タイキウシ」(大木が群生するところの意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅コスモール大樹、宇宙交流センター SORA、暁成温泉、カムイコタン公園キャンプ場、坂下仙境、十勝ホロカヤント一竪穴群など。

12 広尾町 Hiroo Town

●面積 /596.48km² ●人口 /5,880 人

十勝の海の玄関である重要港湾十勝港とともに発展してきた。サンタクロースの故郷ノルウェーが認めた国外初、日本で唯一のサンタランド。国道 336 号沿いには、道路脇を直接流れ落ちるフンベの滝がある。ししゃもやカニをはじめとする豊富な海産物と農産物が楽しめるまち。フンベ海岸は、サーファー間で人気の日本屈指のサーフスポット。

■地名の由来 /「ピリレ」(ピは石が転がる、ルイは砥石がとれる地の意) から転訛。
■観光名所 / ひろおサンタランド (大丸山森林公園)、日高山脈襟裳十勝国立公園、十勝神社、シーサイドパーク広尾、フンベの滝、黄金道路など。

13 幕別町 Makubetsu Town

●面積 /477.64km² ●人口 /25,269 人

パークゴルフ発祥の地。ナウマン象の化石骨が発掘された地としても知られている。町内各地の小高い丘にはシーニックカフェちゅうるい、明野ヶ丘公園展望台タワー、丸山展望台等が整備され十勝平野の雄大な景色を見ることができる。また、多くのオリンピック選手を生んでいるオリンピアンのまちとしてスポーツを通じて交流するまちづくりを進めている。

■地名の由来 /「マクウンペツ」(山際を流れる川・後川の意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅忠類、ピラリ (明野ヶ丘公園)、十勝ヒルズ、フロンティア通り、忠類ナウマン象記念館、魚道観察室ととろーど、幕別町ふるさと館、忠類白銀台スキー場など。

14 池田町 Ikeda Town

●面積 /371.79km² ●人口 /5,906 人

全国初の自治体ワイン「十勝ワイン」を製造し、ワインツーリズムの先駆けとなってきた池田ワイン城が有名で、「池田町ワイン祭り」には毎年町内外から多くの来場者が訪れる。また、地域独自のワイン用ブドウ「山幸」が国際品種に登録された。町内で肥育から加工処理までが行われる「いけだ牛」が人気。

■地名の由来 / 池田侯爵によって本格的な開墾が始まったことに由来。
■観光名所 / ワイン城、千代田堰堤、DCTgardenIKEDA、十勝まきばの家、清見ヶ丘公園、池田町郷土資料館など。

15 豊頃町 Toyokoro Town

●面積 /536.71km² ●人口 /2,878 人

十勝川の最下流に位置する十勝発祥の地。樹齢約150 年のはるにれがまちのシンボル。1 月中旬から 2 月下旬に大津海岸で見られるジュエリーアイスは人気が高い。二宮尊親(二宮尊徳の孫)を開拓の祖とし、道内で唯一全国報徳研究市町村協議会に加盟しており、全国の参加市町村と連携しながら、報徳のおしえを継承し互産互生事業を行っている。

■地名の由来 /「トエコロ」(大きなフキのあるところの意) から転訛など諸説あり。
■観光名所 / はるにれの木、茂岩山自然公園、湧洞沼、長節湖、とよころ物産直売所、ジュエリーアイス (大津海岸) など。

16 本別町 Honbetsu Town

●面積 /391.91km² ●人口 /6,046 人

本別生まれの中生光黒大豆を使った加工品のブランド「キレイマメ」を全国へ発信する豆のまち。毎年 9 月には本別町最大のイベント「本別きらめきタウンフェスティバル」が、1 月下旬には節分をテーマに 2 トンの豆が撒かれる「ほんべつ豆まかナイト」が開催されている。市街地近くには高速道路のIC、JCTがあり、道東の交通の要衝となっている。

■地名の由来 /「ポン・ベツ」(小さな川の意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅ステラ★ほんべつ、義経の里 本別公園、幽仙峡、本別町歴史民俗資料館、神居山展望台など。

17 足寄町 Ashoro Town

●面積 /1,408.04km² ●人口 /5,952 人

林業と農業を主産業とする、放牧酪農推進のまち。町村では日本一広い面積を有し、町内に自生する、栄養豊富な川の水によって高さ 2 ～ 3mになる巨大なフキ「ラワンぶき」は北海道遺産に登録されている。道の駅あしょろ銀河ホール21 は平成 29 年度に国土交通省からモデル「道の駅」(地域交通拠点部門) に認定され、地域の公共交通の拠点として活用されている。町民や観光客から採取した足型が町内歩道に敷設されている。

■地名の由来 /「エショロ・ペツ」(沿って下る)川の意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅あしょろ銀河ホール21、阿寒摩周国立公園オンネトー、オンネトー湯の滝、足寄動物化石博物館、白藤の滝、雌阿寒温泉、芽登温泉、錦沼、里見が丘公園など。

18 陸別町 Rikubetsu Town

●面積 /608.90km² ●人口 /2,120 人

酪農と林業が基幹産業で、夏と冬の寒暖の差が 70 度にもなる日本一寒い"しばれ"のまち。72 歳で徳島から入植した関寛斎を開拓の祖として讃える。寒さを体感するイベント「しばれフェスティバル」は全国的にも有名。星空にやさしい街 10 選に認定されており、日本最大級の反射望遠鏡を備えた一般公開型の銀河の森天文台からは、オーロラが観測できることでも有名。りくべつ鉄道の運転体験が人気で、国内最長コースには全国から鉄道ファンや家族連れなどが多く訪れている。

■地名の由来 /「リクンペツ」(高く上がっていく川、危ない高い川の意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅オーロラタウン93りくべつ、ふるさと銀河線りくべつ鉄道、銀河の森天文台、関寛斎資料館など。

19 浦幌町 Urahoro Town

●面積 /729.85km² ●人口 /4,108 人

十勝最東端に位置し、町の面積の約 74%を森林が占めている林業と畜産のまち。海岸線には自然の花畑である豊北原生花園や広大な太平洋を見下ろせる昆布刈石展望台などもあり、自然豊か。うらほろ留真温泉はアルカリ性の高い泉質を持ち、良質な温泉として評判。また、子どもの教育や町の活性化に官民一体となって取り組む「うらほろスタイル」が注目されている。

■地名の由来 /「オーラポロ」(川尻に大きな葉が生育するところの意) から転訛。
■観光名所 / 道の駅うらほろ、うらほろ森林公園、うらほろ留真温泉、昆布刈石展望台、豊北原生花園、Uralaa　park urahoro、十勝オコッペ遺跡など。

※面積：令和7年全国都道府県市区町村別面積調 (令和7年10月1日現在) (国土地理院)
※人口：住民基本台帳人口 (令和7年1月1日現在) (北海道総合政策部地域行政局市町村課)